

イノベーションを生み出すR & Dリーダーのための チームマネジメント実践講座

～現場の経営者として、未来を創造し、現在を変え続けていくためのリーダーシップ～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2019年 5月20日(月) 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京: 麹町)

【ご参加頂きたい方】

製造企業の経営者、技術・開発部門長・マネージャー・リーダー、技術者・研究者、技術・開発企画スタッフ
特に、下記の課題認識をお持ちの方。

・リーダー、マネージャーとして、リーダーシップと実践的なチームマネジメントの技術を学びたい／R & D現場のイノベーションを生み出す力を高めたい／R & D現場の生産性を高めたい。現場のマネジメントを変えたい・進化させたい。／R & Dを引っ張る現場のリーダー、マネージャーを育てたい／R & D向けのリーダー、マネージャー教育を実施したい。

講師 株式会社ケミストリーキューブ 代表取締役 平木肇 氏



92年筑波大学を卒業、シャープ(株)入社。エンジニアとして先端電子デバイスの研究開発・製品開発・生産技術開発に取り組む。通産省(当時)主幹の次世代研究プロジェクトに参画。99年(株)日本能率協会コンサルティンク入社。14年間にわたり、技術経営(MOT)、イノベーションマネジメント、研究開発(R & D)マネジメントを主領域としたコンサルティングに従事。2014年(株)ケミストリーキューブ設立。“技術人材の知恵を、価値を創り出す力に変える”をコンセプトとして、ものづくり企業・技術系企業の技術力・価値創造力の強化と人材の開発を支援している。

【申込方法】 当会ホームページ(https://www.bri.or.jp)からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をFAXでご送頂いたく際は、ご使用のFAX機の使用法(O発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	41,040円(本体価格 38,000円)	一般	45,360円(本体価格 42,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191113-1010(※) イノベーションを生み出すR & Dリーダーのためのチームマネジメント実践講座

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させて頂きます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。[TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

【プログラム】 R & D(研究・技術開発・製品開発・生産技術開発)の生産性は、現場のチームを任せられたリーダーの力量が大きな鍵を握ります。さらに、イノベーションの時代において、新たな価値と技術の創造を担う中核機能としてR & Dへの期待が高まる中、現場のリーダーの力をいかに高めるかが重要な課題となっています。R & Dリーダーの仕事は、業務計画の立案や予算作成、進捗管理や業務報告などの管理作業をこなすことではありません。現場の「経営者」として、チームの未来を創造し、現在を変え続けていくためのリーダーシップを実践することです。本セミナーでは、イノベーションに向けて継続的に成長し続けるR & Dチームをつくるためのリーダーシップをテーマに、ケミストリーキューブが様々な企業のR & D現場を支援する中で培った実践的なチームマネジメントのコンセプトとフレームワークについて解説します。

- 変化するR & Dの役割とチームリーダーへの期待
 - ものづくり企業が直面する変化と危機感
 - イノベーションの時代
 - R & Dの役割の変化
 - R & D現場の悩み
 - チームリーダーへの期待
- チームリーダーとは
 - 管理作業をこなせてもリーダーにはなれない
 - リーダーは担当者の延長線上ではない
 - チームリーダーは現場の「経営者」
 - リーダーシップとマネジメント
 - マネジメントの機能
 - チームマネジメントにおける2つの領域
～「未来を創る」と「現在を変え続ける」～
- 未来を創るマネジメント ～R & Dチームの成長戦略～
 - チームの成長戦略の考え方
 - 成長とは規模の拡大ではなく、能率の向上
 - 基本思想は「2軸志向」
 - チーム成長戦略の3つのコンセプト
～チームビジョン、チーム学習、マイブラン～
 - チームビジョン
 - チームビジョンとは何か ～壮大なビジョンは必要ない～
 - どのようなチームをつくりたいのかを、自らに問いかかけよ
 - 思いを客観的に練り上げる
 - ビジョンをコミュニケーションする
～文章で書くことの大切さ～
 - チーム学習
 - 職場における3つの学習
 - 学習が機能不全に陥る4つの仮説
 - 学習を促進する3つのアプローチ
 - チーム学習シナリオの立案
 - マイブラン
 - リーダーの最も重要な仕事は人材育成
 - 人材育成における問題 ～OJTとOff-JTの分断～
 - チーム学習と個人の成長を同期させる

- メンバーの成長期待を具体化する
 - 2軸でメンバーとのコミュニケーションする
4. 現在を変え続けるマネジメント
～チームの運営と改善～
- チームの運営と改善の考え方
 - 現場の目線で現実を直視し、多面的な視点で判断する
 - チームの運営と改善 3つのコンセプト
～見える化、振り返り、ムダどり～
 - 見える化
 - R & Dの仕事はそもそも見えにくい
 - 見える化は目的ではない
～見える化するとは“善”という思考停止～
 - 意思決定のための3つの見える化
 - 作業をばらす前に課題をばらせ
～懸念、曖昧、心配に見える化する～
 - 振り返り
 - P D C A のPの偏重
～R & Dの仕事はやってみなければわからない～
 - 振り返りの2つのアプローチ
～分析アプローチと創発アプローチ～
 - 創発アプローチの実践プロセス
 - 創発アプローチをR & Dプロセスの中に組み込む
 - ムダどり
 - 改善活動の結果、やるが増えちゃう矛盾
 - 改善の基本は「やらないこと」
 - お客様はだれか、お客様に価値を生み出すために
その仕事は本当に必要か
 - 問題の真因を掘り下げる「なぜなぜ分析」
5. まとめ ～チームリーダーとして成長し続けるために～
- マネジメントは「実践の科学」
 - やってみる、気づく、学ぶのサイクルを回し続ける
6. フリーディスカッション(Q & A)

※簡単なミニ演習を交えて講義を行います。
※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。